

MAX40 S510P/DA16T 取付のコツ

MAX40のS500P/S510Pハイゼットトラック(ジャンボ)とDA16Tキャリイトラックの2車種はフロントの構造が特殊なので、他車種のようなアッパーソーサーでは安全に車高を上げることができません。
オーバーテックではショックとナックルの連結部を持ち上げる方式で車高を上げておりますので装着時の作業でキャンバーなどの差が出やすいためここにコツを記してご案内致します。

装着車両(例)

S500P ハイゼットジャンボ 2WD ABS無し車

※DA16Tの場合は若干違いますが参考にしてください。

製品画像

フロントダウンブラケット

フロントブレーキホース移設ステー

リアテーパーブロック

リアショック延長アダプター

ロングUボルト

ジャッキで上げてウマでしっかり保持した状態で安全に作業してください。

ショック下部のブレーキラインとABSラインの連結部を先に外します。

ナックルボルト4本を外しナックルを切り離します。
先にショック側に25mmのカラーを間に挟んでプレートにボルトを通しておきます(緩い動く状態で良い)。



先に下穴にボルトを通してから上穴にボルトを通しますが重くて穴まで届かないと思いますのでローターのハブ段のところにジャッキを当てて上に少しずつ持ち上げていくと起き上がっていきますので、手で奥に行くようアシストしながら穴位置を合わせていきます。
この時に2穴の上穴が干渉して入らない場合は(個体差)、画像のように2穴プレートのかくらみのあたりを1.2mm程度削って対応ください。

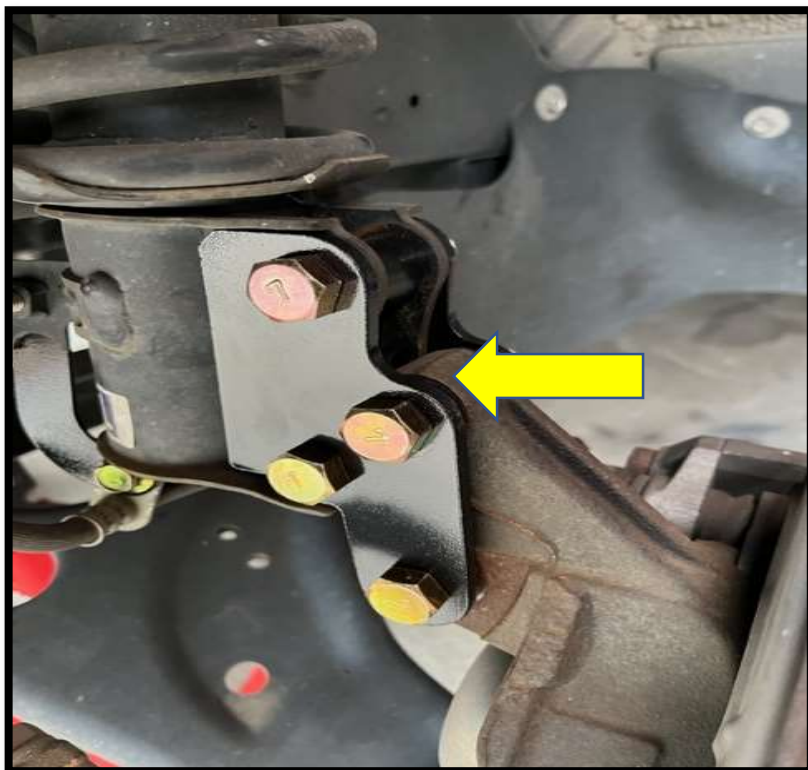


画像の2穴プレートの上側が個体差で干渉する場合があります。その場合はラインのあたりを削って奥まで入るように調整して挟み込んで下さい。

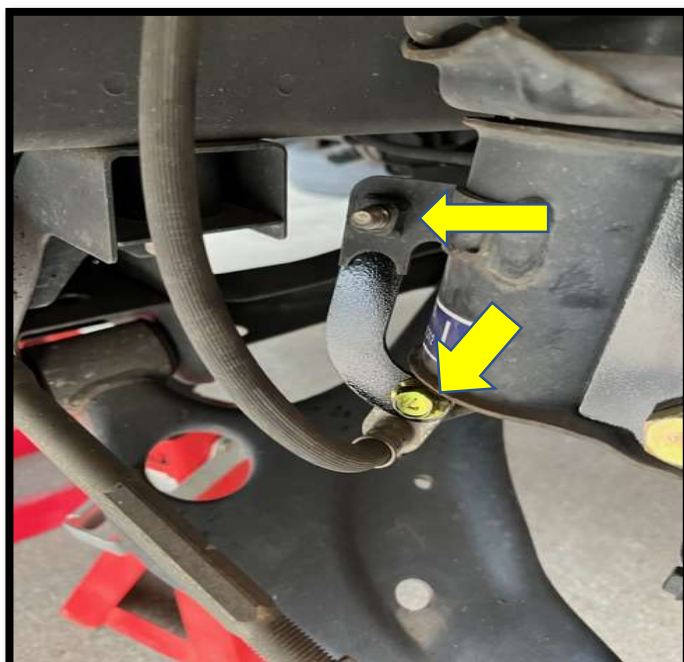
また閉じ気味の純正ショックのブラケットの下方にナックルが若干食い込む感じになりますので先端に干渉していてもボルト穴は合いませんのでご注意ください。

これも個体差がありますが、ショック側に入れる25mmのカラーの下側が純正ナックルに干渉してしまう場合は、下側のカラーのみ使用しないでください。

スムーズにボルトが通りましたら、再度ジャッキを当てたままでローター面がなるべく直立になるよう穴の遊び分を目いっぱい奥になるよう力を掛けながらボルト4本を増し締めしていきます。



この作業の差で完成時のキャンバーに大きく差が出ます。
イメージとしては4か所固定するボルトの一番下が支点
となり上側を奥に押し込む感じで遊び分補正します。
またナックルの頭は気持ちショックのブラケットに噛みま
すのでショックに当たっていると奥まで入りませんのでご
注意ください。



ブレーキホースはショックの真下あたりで保持するように
装着しますがなるべく固定部から車体方向に余裕を持たせ
るようにしてください。
ABSラインはショックの固定部がスライドしますので車体
側が余裕あるように調整して固定します。
固定部からセンサーまではパツパツでも問題はありません。

次にリアになります。
車軸にジャッキを当てて脱落しない状態を維持します。
レベライザー付きの場合はセンサーを一時外します。
サイドブレーキワイヤーがアームの中央あたりに固定されていますので一時外しておきます。
ショックの下部も外しておきます(上は触らない)。
純正Uボルトの固定ナットを左右で8個外します。
ジャッキを下げていくとリーフと車軸の間に隙間ができますのでテーパーブロックを配置します。
車両前方向が薄くなるようにブロックを置き、リーフ側凸と車軸側凹を合わせてジャッキを軽く当てて位置決めし、ロングUボルトで固定します(デフの負荷を軽減するため)。
ボルトが決まったらショック下部に延長アダプターを装着します。
純正ショックのゴムブッシュに付属のステンカラーを挿し込んでから付属のアダプターを装着し、車体側には純正のワッシャー⇒アダプター⇒純正のワッシャーの順で挟んでナットで締めこみます。
サイドブレーキワイヤー保持部はブロックを挟んだことで若干位置がズれますので負荷のかからないところで固定し、レベライザーステーも固定します。
全て完了しましたら各部締め込みをチェックしてから試走します。

特に異音や振動などがなければ最後にトー調整とライトの高さの調整を行っていただき完成です。